

第2次総社市総合計画 実施状況

平成30年10月

総社市総合政策部政策調整課

【基本目標 1】

だれもが住みたくなる総社

満足度 3.4(3.4→)

重要度 4.1(4.2↓)

満足度・重要度の()内は昨年度の数値

[転入超過数(5年間平均)] 当初値:155人/年 ⇒ H29確定値:578人/年(H30現況値:616人/年) ⇒ H32目標値:年平均200人以上

【重点推進施策】

子育て

満足度 3.5(3.5→)

重要度 4.3(4.4↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値							H32目標値
○待機児童を3年以内に‘ゼロ’に	3.3 (3.3→)	4.2 (4.3↓)	転入者数	2,173人 (平成25年)	2,617人 (平成29年)	2,333人 (H30.1.1~ 9.30)	2,500人	3,641	3,689	コーディネーターが配置となり、妊娠期から子育て期に切れ目のない細やかな支援をワンストップで実施した。	妊娠期から子育て期の関わりを細やかに継続して支援している。子育てほっとルームも定着し、利用件数も前年度より増加している。	対象者のニーズにあった継続した関わりが出来てきた。妊娠中から関わりを深めることで、出産後の訪問や支援がよりスムーズにできるようになった。	
○妊娠期から子育て期をワンストップで支援	3.3 (3.3→)	4.1 (4.2↓)	出生数	564人 (平成26年度)	535人 (平成29年度)	257人 (H30.4.1~ 9.30)	646人	8,954	11,388	他市と協定を締結し病児保育の広域化を図り、より利用しやすい事業展開ができた。	インフルエンザの流行等にも左右されるが、利用者数は安定している。	広域化も定着し、利用者も安定した状態である。	
○支援が必要な子どもを応援	3.2 (3.2→)	4.3 (4.4↓)	待機児童数	50人 (H27.10.1現在)	0人 (H29.4.1現在)	0人 (H30.4.1現在)	0人(H30年まで)	2,865	3,550	「子育て王国そうじゃ」の実現に向け、まち全体で子育て支援に協力していただくため「子育て王国そうじゃまちづくり実行委員会」を中心にソフト事業を展開した。	子どもを取り巻く環境が目まぐるしく変化中、総社市の子育て支援を模索している。	「子育て王国そうじゃ」を掲げて10年が経過し、子育て支援の現状を把握し、これからの子育て支援の体制づくりを行う必要がある。	
			子宮頸がん検診(HPV検査)の受診者数	-	217人	119人 (H30.4.1~ 9.30)	350人	264,509	277,623	インフルエンザの流行により、平成28年度同様、医療費の伸びが大きかったため、適正受診を呼びかけた。	4月から対象年齢を中学3年生まで拡大した。	医療費はインフルエンザの流行等で左右されるが、適正受診を呼びかけ予算の拡大を防ぐ必要がある。	
			子育てしやすいと感じている人の割合(市民アンケート数値)	-	51.8%(満足・どちらかといえば満足)	50.2%(満足・どちらかといえば満足)	80%	1,157	1,340	総合検診は年5回実施。47人受診。PECは年33回、2グループ、延べ461人が利用。検診での早期発見・早期医療、療育へのつなぎや、各年齢層や個別に応じた、内容や集団プログラムを実施した。	7月豪雨災害の影響で、中止や順延になった事業もある。就学を控えた児の受診が増えており、発達検査等の評価をする場が少ない現状。	年々ニーズが高まり、そうじゃ式一貫発達サポートシステムとして、個別に応じた、継続した発達支援を行った。しかし、発達検査等の評価をする場が少ないのが課題。今後も適切な医療や療育につなげるために、関係機関との連携が必要。	
								129,353	143,455	エアコンの修繕及び追加設置を行い、環境の整備を実施した。(秦小、清音小、中央小) 平成30年度開始に向け、総社中央小学校区に放課後児童クラブを増設した。	総社中央小学校区に放課後児童クラブを増設したことにより、定員が30人増加。中央小学校区では、長期休業日のみ4年生以上の児童の預かりを開始。山手小学校区のエアコンが壊れたため修繕を実施。	児童数が増加している学区では特にニーズが高まっている。また、長期休業日児童クラブへの希望者が多く、各クラブでの対応の検討が課題。 エアコン等の備品が壊れることが続いていることから、設備面の点検が必要。	
								37,068	699,053	平成31年4月開園に向けて、基本・実施設計を行い、新築工事が早期着手できるよう準備を行った。	平成31年4月開園に向けて、工事着手し、早期完成を目指している。	待機児童の解消に繋がるよう工事を進めているが、井尻野幼稚園と総社保育所からの移行がスムーズに行えるよう連携を図る必要がある。	
								4,738	1,000	幼稚園預かり保育用のエアコンを4園設置した。(総社、総社北、総社南、常盤)	幼稚園預かり保育の利用者が増えており、実施園8園中1園(山手)に対してエアコンを設置し、預かり保育の充実を図る。	預かり保育を充実させることで、待機児童の解消へ繋がることから、実施園全室にエアコンの設置及び、預かり保育指導員の確保が必要である。	
								4,800	6,000	市内私立保育所等に勤務する保育士等に対して、保育人材等の確保を図ることを目的として、1人2万円を240人支給した。	事業を継続していくことで、保育人材等の確保を図る。(1人2万円)	待機児童の解消を図るためには、保育士確保は喫緊の課題であることから、支援金を支給することで、保育人材の確保を図るとともに、保育士への負担軽減となる施策も必要である。	
								-	4,650	-	-	県内10か所の産科・助産院と契約し、宿泊型・デイサービス型ケア・アウトリーチ型ケアの3種のサービスを6月から開始。現在利用者は未だが、今後始まる産婦健診後にはニーズが高まる予定。	産婦健診と合わせて実施することで、産後うつ等の予防や新生児への虐待等の予防を図る。
								322,248	-	平成29年4月開所に向けて整備した、みどり保育園の増改築(30名増)に対して助成を行った。	-	利用者が増え、民間保育所への運営費が増加していく。 保育士不足により利用希望者の受け入れを制限せざるを得ない状況であるため、保育士の確保が必要である。	

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値	H32目標値						
○独居高齢者の孤立を防ぐ	3.1 (3.1→)	4.3 (4.3→)	雪舟くん1日平均乗車数	229人 (平成26年度平均)	219人 (平成29年度平均)	216人 (平成30年度平均)	250人	新生活交通「雪舟くん」の利便性向上 H28～ H30～ 午前便の増便本格運用	68,215	71,450	・運行車両の更新(小型化) ・運休時間の撤廃 ・利用料金の減免対象者を拡大 ・午前便の増便 上記等の見直しを実施し、利便性の向上に努めた。	新規利用者の開拓等。さまざまな見直し施策を検討中。	平成27年度の1日平均利用者数211人から、さまざまな見直しにより利用者数は増加傾向にある。地域ごとのニーズにあった公共交通の仕組みについて、引き続き検討する必要がある。
○高齢者のケア・見守りの強化	3.1 (3.1→)	4.3 (4.4↓)	認知症サポーターの数	2,538人 (H27.3.31)	5,965人	6,166人 (H30.9.30)	6,000人	郵送型健診(スマホドック) H28～	885	1,382	・青壮年期への健康づくりへの意識啓発及び疾病の早期発見早期治療 ・対象者1,641人 申込数158人	H30.7月下旬から随時実施。今年度からスマホやパソコン以外の紙媒体でも対応することとし、受診率向上を目指している。対象者1,637人	申込者には経年的利用者も少しずつ増加しており、40歳からの特定健診受診へつながっている。年々受診率が増加しているが、さらに受診率向上に向け検討が必要。
○雪舟くんの利便性強化	3.2 (3.3↓)	4.1 (4.1→)	いきいき百歳体操の実参加者数	1,925人 (H27.3.31)	2,171人	—	2,800人	権利擁護事業 H28～	7,422	8,176	延相談件数 2,916件 実相談人数 240人 専門職ネットワーク「そうじゃ権利擁護ねっと」の設立 2月5日「地域権利擁護ネットワークフォーラム」開催	権利擁護センターの認知度が高くなり、相談件数も増えている。 支援検討委員会を毎月1回開催し、困難事例の調整や解決策の協議、成年後見受任候補者の調整などを行っている。その他専門部門についてワーキンググループにおいて検討・協議を行っている。	認知症高齢者の増加などにより成年後見制度利用ケースは増加傾向にあり、市民後見人の養成・確保が必要となっている。 国の成年後見制度利用促進基本計画による「コーディネートを行う中核機関」設置の必要性が高まっている。
○切れ目のない介護と医療体制をつくる	3.1 (3.0↑)	4.3 (4.4↓)						生活支援体制整備事業 H28～	21,001	20,655	圏域地域包括ケア会議の開催 総社市生活支援サービス検討委員会の開催 地域支え合いフォーラムの開催 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催(修了者51名)	協議体・生活支援コーディネーター、地域包括支援センターを中心に多様な主体による地域の生活支援体制の整備を行っている。	平成28年度に設置した生活支援コーディネーター・協議体を活用して地域毎の特性に合わせた生活支援体制整備を関係者が協議する場を持ち、具体的に推進していく必要がある。
○障がい者の支援の充実	3.2 (3.2→)	4.2 (4.2→)						高齢者住宅等手すり・段差解消支援事業 H28～	1,714	3,000	手すり・段差解消 21件	9月末時点申請数 13件	高齢者及び身体障がい者が、居住する住宅において、手すり設置等の簡易な改修を行う場合に費用の一部を助成することにより、高齢者等の在宅福祉の増進に寄与している。
○元気でいきいき！健康寿命を延ばす	3.3 (3.2↑)	4.1 (4.1→)						そうじゃ台帳整備事業 H28～	1,685	1,685	民生委員による担当地区の高齢者の確認と状況把握を行った。	地域包括支援センター職員による実態把握を継続しておこなっている。 民生委員にも協力してもらい、名簿を提供し、2回目の地域の実態調査を行う予定。	平成28年度システム導入。データベースの一元化により、効率的・効果的に支援を行う体制整備を行っている。 社会的に孤立している高齢者等を「見守り支援システム」に搭載するために、引き続き市と地域包括支援センター、小地域ケア会議委員等が連携し、高齢者の置かれている状況を把握していく必要がある。
								認知症対策事業 H29～ 認知症カフェ、ココセコム	5,064	5,382	認知症カフェ開設助成金 9団体	5団体へ助成予定。8月末時点申請団体なし。	認知症高齢者は増加傾向にある。認知症カフェの有効活用やSOS声かけ訓練を通じての地域活性化が課題となっている。
								高齢者世帯配食サービス事業 H29～	4,359	12,372	H29.7月に仕組みを一新。 管理栄養士のオペレーター配置、給食提供事業者6業者に製造配達委託。配食回数を週2回→週5回、メニュー2種類→20種類以上。 実利用者数 120名 配食数 11,685食	8月末時点での実利用者数116人(最大5月末126人) 4～8月までの配食数延8,662食	自立支援にもつながるよう、アセスメントの充実や地域の工夫した取り組みをさらに広げていく必要がある。
								“歩得”健康商品券事業 H30～	17,715	25,334	参加PRのためサロン等80ヶ所以上を巡回し、参加者を募集した。市内6会場において参加者説明会を実施した。	2,345名の参加で開始し、4～7月の平均歩数は6,325歩。データ未送信者には電話連絡し、継続支援を行っている。また、事業所へ商品券登録依頼を実施中。	参加者の歩数増加と継続の支援を継続して行っていくとともに、商品券登録事業者の増加を図る。
								健診(検診)の充実 H29	5,224	—	個別に医療機関で受診でき、内視鏡検査も選択できる様に検診を充実した。 ・バリウム検査 7人 ・内視鏡検査 73人	—	高齢者が安全に胃がん検診を受けられるように、29年度から胃がん検診の実施を医療機関にも委託した。また、胃内視鏡検査を導入したことにより受診者が増加した。
								H28 地域医療介護総合確保基金事業	—	—	—	—	—
								H28 地域集会所建設費補助金	—	—	—	—	—
								H28 地域医療体制整備事業	—	—	—	—	—
								H28 いきいき百歳体操啓発・推進	—	—	—	—	—

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値						
○吉備線をもっと便利に	3.0 (2.9↑)	3.9 (3.9→)	宅地面積	1,475ha (H27.4.1)	(都市計画基礎調査後に 数値確定)		1,505ha	4,910	6,000	都市・地域総合交通戦略を策定するにあたって、市内在住の16歳以上の3,500人を対象にアンケートを実施する等、戦略策定のための基礎的な調査をまとめた。	都市・地域交通戦略を策定する上で設置が義務づけられている法定協議会を開催し、協議・検討を進める。	公共交通のみではなく、まちづくりと一体となった戦略を策定する必要があるため、関係機関等との協議が引き続き必要となる。
○市街化区域の再活性化	3.0 (3.0→)	4.0 (3.9↑)	統一されたデザインによる街路灯の設置	-	34基	34基	80基	32,234	93,500	地域からの要望により、日羽～美袋地内に計7基LED防犯灯を新設する等、安全安心なまちづくりに努めた。(交通政策課) 市役所通り(中銀～市役所北)L=470m LED街路灯20基設置(都市計画課)	国道180号道日羽～美袋地内に支柱23本、LED防犯灯24基を設置済み。原地内へ9基を設置する設計を進めている。(交通政策課) 中央文化筋(市役所交差点～東総社中原本線北)L=680m街路樹38本伐採、LED街路灯36基設置予定(都市計画課)	地域からの要望等を元に、今後も安全安心なまちづくりのために、関係機関等との協議をしながら設置を進めていく。(交通政策課) 総社駅から市役所付近までの市役所通り及び市役所付近から東総社中原本線までの中央文化筋のLED街路灯の設置がすべて完了することにより、中心部が明るくなり、市街地の活性化につながる。(都市計画課)
○夜間ピカピカ大作戦	2.9 (3.0↓)	4.1 (4.1→)					地域力再生事業(道路整備) H30～H32	-	100,000	-	災害関連事業を優先しており、当該事業の執行が遅れ気味である。	生活道など地域に密着した小規模修繕や補修工事を行う。
○南北道を始めた道路整備	3.1 (3.1→)	3.9 (3.8↑)					橋りょう点検・修繕計画・修繕 H28～	56,163	61,000	橋梁点検 205橋 橋梁長寿命化計画策定 162橋(シェッド含む)	橋梁長寿命化計画に基づき193橋の点検業務を実施中である。	・市道橋827橋の定期的な点検を実施し、劣化箇所の修繕を順次行う。 ・事業費の確保
							横断歩道橋点検・修繕計画・修繕 H28～	5,530	11,000	横断歩道橋点検(総社駅構内歩道橋) 1橋	清音駅自由通路の点検についてはJRと協定を締結し、年度末完了予定である。	・横断歩道橋3橋の定期的な点検を実施し、劣化箇所の修繕を順次行う。 ・事業費の確保
							舗装修繕計画・修繕 H28～	33,563	41,000	舗装修繕工事 5路線 延長 2110.0m	9路線(延長1965m)のうち4路線について事業実施中。残り5路線も順次発注していく。	・路面の詳細調査に基づき長寿命化計画を策定し、適切な舗装修繕を実施する。 ・事業費の確保
							シェッド(洞門)及びトンネル点検・修繕計画・修繕 H28～	858	-	シェッド(洞門)2橋の点検を実施した。	-	・シェッド(洞門)及びトンネルの定期的な点検を実施し、劣化箇所の修繕を順次行う。 ・事業費の確保
							道路付属物点検・修繕計画・修繕 H28～	-	-	-	-	-
							のり面点検・落石対策 H28～	-	-	-	-	-
							転落防止柵設置事業 H29～H33	21,350	10,000	防護柵1301.4m設置	警察の指摘箇所を中心に発注準備を進めている。	・警察の指摘及び地元要望から危険箇所を把握し、順次防護柵を設置する。 ・事業費の確保
							溝口踏切拡幅事業 H29～	4,957	12,000	概略設計をもとにJR・井原鉄道・交通規制課と協議を行い、ほぼ合意に至った。 延長・幅員 L=70m W=5.0(8.5)m	概略設計をもとに踏切道の詳細設計、電気設備の概略設計等を行い、今後、関係機関と最終確認に入る。 延長・幅員 L=70m W=5.0(8.5)m	踏切道前後の交差点協議(真壁支線3156号道との調整)
							刑部三須線整備事業 H28～	113,034	179,000	建物調査 5棟 附帯工作物 5戸 7箇所 用地買収 10件 物件補償 4件	用地買収・物件補償 地権者と交渉中	・家屋移転に伴う移転先の確保 ・国庫補助金が付きにくい状況
							上原富原線改良事業 H29～	7,560	19,200	現地測量・道路詳細設計をもとに地元説明会を開催した。 延長・幅員 L=690.0m W=5.0m	用地測量・物件調査業務 実施中	建物等移転補償、水路等関係者との協議
							(仮称)福井支線3467号道改良事業 H29～	20,099	-	現地測量・道路詳細設計を実施した。 延長・幅員 L=570.0m W=6.0(9.75)m	国道180号総社バイパス平面交差について国交省・交通規制課と協議中	平面交差にするとバイパス機能の低下に繋がることや信号交差点が近接することなどの理由により、関係機関との協議が難航している。交差点協議が整い次第、用地測量を進めていく。

事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
刑部支線3283号道改良工事 H28～	6,113	15,000	現地測量・道路詳細設計を実施した。 延長・幅員 L=380.0m W=6.0(9.75)m	用地測量・物件調査業務 発注準備中	関係機関(NEXCO西日本、岡山県)との協議、高速道路区域変更の手続き、墓地等の移転について所有者との協議が必要。
住宅耐震改修事業 H29～	970	3,600	木造住宅耐震診断・補強計画10件 木造住宅耐震改修工事1件	総社市建築物耐震改修促進計画に基づき、戸建住宅等の所有者に対し耐震化のための啓発を進めている。 木造住宅耐震診断・補強計画7件 木造住宅耐震改修工事1件 実施中	地震が少ない地域のため、市民の意識として耐震化の機運が高まっていない。
浸水対策事業 H28～ 中原雨水幹線改修工事	12,000	66,000	井尻野・中原雨水幹線工事	井尻野・中原雨水幹線工事 L=80m	市街地の浸水防除のため、国庫補助及び単市により計画的に実施していく。
水質保全下水道事業 H28～	308,400	326,000	・総社下水処理場及び富江中継ポンプ場改築工事 ・泉・中原中継ポンプ場改築設計業務 ・総社下水処理場・山手浄化センターネットワーク管理設工事	・富江中継ポンプ場改築工事 ・泉・中原中継ポンプ場改築設計業務 ・総社下水処理場・山手浄化センターネットワーク管理設工事 L=400m	老朽化等による施設・機器の機能低下が著しいため、国庫補助により、計画的に改築更新を実施している。
未普及解消下水道事業 H28～	12,099	30,000	井手地内汚水管埋設工事	井手地内汚水管埋設工事 L=400m	国の方針(10年概成)をふまえ、市街化区域の中で公共下水道が未普及の地区について、順次汚水管を整備する。
東部水源系施設統廃合事業 H28～	200,346	195,900	統廃合に伴う配水管布設L≒1,200m及び企業団受水のための仕切弁設置24基を実施した。	合併創設第2次変更認可に基づき、引続き東部水源系施設の統廃合を進めている。	施設の統廃合事業に関して今後さらに事業費が増加するため、長期財政計画に基づいて事業を実施していく必要がある。
石綿セメント管更新事業 H28～H29	42,208	—	総社一丁目及び井尻野地内の石綿管を更新した。	—	—
冠水標示板設置 H28～H29	10,692	—	常盤地下道に冠水警報装置を設置した。	—	市内3ヶ所のアンダーパスについて冠水標示板の設置完了

【重点推進施策】

移住・定住促進

満足度

3.4(3.4→)

重要度

3.8(3.9↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値	H32目標値						
○結婚を応援	3.0 (3.0→)	3.8 (3.7↑)	カップリングパーティ参加者のうちカップル成立数(累計)	11組 (平成26年度)	58組	62組	70組	空き家対策事業 H29～	3,645	4,463	商人応援事業を利用した新規店舗7件	商人応援事業 9月末時点 申請数5件	総社市空き家対策協議会の設立と、危険空き家等に対する緊急安全措置を実施する。
○移住・定住を促進	3.1 (3.1→)	3.8 (4.3↓)	結婚活動事業参加者の成婚者数(累計)	0件 (平成26年度)	9人	9人	20人	定住促進事業 H28～ H30～ お試し住宅	10,516	1,385	定住助成金(定住祝い金10件、新築又は購入助成金4件、生活環境整備助成金11件)	9月末時点 定住祝い金 3件 新築又は購入助成金 9件 生活環境整備助成金 3件	お試し住宅を整備し、さらなる人口増に繋げる。
			移住相談等の施策により移住した件数(定住祝い金対象)(累計)	2件 (平成26年度)	25件	29件 (H30.9.30現在)	75件	婚活事業 H28～	320	500	婚活イベント2回実施 カップル16組成立	H30.10.21 婚活イベント開催 カップル4組成立	そもそも婚活イベントを実施するかどうか自体を再検討する必要がある。セミナーの開催なども視野に入れて計画することが必要
								住宅新築助成事業 H30～	0	24,000	—	H30.4.1申請受付開始 9月末時点 申請数16件	空き家除却をした上での新築にも助成金制度を設けているが、まだ利用者がいない。空き家の抑制のためにも、もっと周知し、活用してもらいたい。

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値	H32目標値						
○東日本大震災から学び、災害に強いまちにする	3.1 (3.1→)	4.3 (4.3→)	自主防災組織率の向上	50.1% (H27.4.1)	96.8%	96.8%	(H30数値修正 70%⇒ 100%	防災行政無線(移動系)整備事業 H29 実施設計 H30～ 整備工事	0	○	移動系のデジタル化に向けて実施設計を行ったが、同報系無線の併用も併せて協議している。	委託業者との協議準備中	H30.7月豪雨の教訓を活かし、より多くの市民へ災害情報を伝達できるものにする必要がある。
○大震災時の支援拠点となる	3.1 (3.1→)	4.2 (4.1↑)	防災啓発事業の実施	年2回 (平成26年度)	年22回	年2回	年20回	市民のための災害救助支援事業 H29～ 災害救助支援基金180,660千円	0	-	—	実績なし	—
								大規模災害被災地支援事業 H28～	1,104	10,000	福岡県朝倉市、福井県勝山市へ物資輸送などの災害支援を実施した。	北海道地震や大阪府和泉市の台風被害などにより不足している物資を迅速に届けた。	引続き、被災地への支援を迅速かつ的確に行うこととする。
								大規模災害被災地受入れ事業 H29～	0	10,000	—	実績なし	—
								洪水・土砂災害ハザードマップ作成事業 H30 (次回はH33)	0	5,940	—	H30.7月豪雨の経験を踏まえ、想定最大規模降雨を視野に入れたハザードマップの作成を検討中	非常用持出し袋の紹介など、防災マップとして利用できるように工夫する必要がある。
								秦地区排水対策事業 H29～	20,239	36,000	雨量や流量調査により基礎資料を作成し、既存排水施設の能力調査及び浸水被害のシミュレーションを行い雨水排水の概略設計計画を作成し地元代表者に説明した。 雨水流解析 A=130.5ha	雨水排水ポンプを想定した設計業務発注準備中	豪雨災害を踏まえて慎重に整備計画を検討する必要がある。
								準用河川国府川改修事業 H28～	38,167	16,000	・準用河川改修計画に基づき、橋りょう上部工を実施した。 橋長L=18.00m W=5.0m ・改修に伴う取付道路工を実施した。 延長・河幅 L=84.0m B=13.0m	・準用河川国府川護岸詳細設計 実施中 延長 L=80.0m ・護岸工 発注準備中	スイゲンゼニタナゴの生息調査や埋蔵文化財調査、予算措置も影響し事業が長期化している。
								消防機庫新築事業 H28～	4,973	3,300	秦分団第4部消防機庫を撤去・新築した。富山分団第1部消防機庫用地の土地購入及び造成を実施した。	富山分団第1部消防機庫移転用地を購入・造成をH29年度完了しており、H30年度移転新築する予定。	老朽化した消防機庫が多数あり、更新計画等を検討する必要がある。
								小型動力ポンプ整備事業 H28～	4,968	3,000	総社分団第6部、下倉分団第2部、富山分団第1部、清音第1分団第1部-1のポンプを更新した。	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、ポンプ2台(久代分団第1部、新本分団第3部)を更新予定。	購入後20年以上経過しているポンプが多数あり、整備計画を検討する必要がある。
								小型動力ポンプ積載車整備事業 H30～	0	2,600	—	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、服部分団第3部の車両を更新予定。	購入後20年以上経過している積載車が多数あり、有事の際に即対応できるよう更新整備を進める必要がある。
								消防車両整備事業 H28～	69,874	76,000	高規格救急自動車1台、消防ポンプ自動車1台を更新した。	化学消防ポンプ自動車1台の更新予定。	消防車両の更新は、安全性、老朽度並びに稼働状況等の車歴を加味して総合的に考慮し、計画を策定しているが、更新が遅れている。
								防火水槽整備事業 H28～	2,690	7,500	既設防火水槽2箇所(久代、見延)を有蓋化した。	既設防火水槽2箇所の漏水改修及び有蓋化を予定。	既設防火水槽で老朽化による漏水対策及び有蓋化を進める必要がある。
								水道消火栓整備事業 H28～	2,002	4,000	国道180号線バイパスに消火栓1箇所を新設し、市内既設消火栓6箇所を改修した。	国道180号線バイパスに消火栓1箇所を新設予定。市内既設消火栓5箇所を改修予定。	老朽化による改修を進める必要がある。
								災害時における備蓄品購入 H29	7,288	—	食料、飲料水、毛布などを購入し市内の4小中学校へ整備した。	—	—
								AED設置事業 H29 消防から遠方コンビニ(山手、清音、池田、服部)	155	—	対象店舗が1店舗出店されたが、エリアマネージャーとAED設置協議した結果、設置には至らなかった。	—	—
								AEDマップ作成事業 H29	409	—	市内約40箇所のAED設置事業所を記載したマップを広報そうじや7月号で各家庭に配布した。	—	—

【基本目標 2】 **だれもが働きたくなる総社** 満足度 **3.2(3.3↓)** 重要度 **4.1(4.1→)**

[総所得金額] 当初値:805億円/年 ⇒H28確定値:821億円/年 H29確定値:839億円/年(H30現況値:862億円/年) ⇒ H32目標値:840億円/年

【重点推進施策】 **雇用** 満足度 **3.2(3.3↓)** 重要度 **4.2(4.3↓)**

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値							H32目標値
○労働者を増やす	3.1 (3.1→)	4.1 (4.2↓)	市内事業所の従業者数	23,392人 (平成24年)	23,110人 (平成28年)	—	25,000人	ひきこもり支援事業 H29～	12,000	19,191	延相談件数 1,691件 実相談人数 104人 社会参加実人数 12人 サポーター定例ミーティング(月1回) ひきこもりサポーター養成講座 開設記念フォーラム 居場所「ほっとタッチ」開設	延相談件数 886件 今年度新規相談人数 27人 (8月末現在) サポーター定例ミーティング(月1回) ひきこもり家族の会「ほっとタッチの会」の 設立	今後3～5年計画で居場所づくり、支援者の養成等を行っていく。センター設置後の相談件数急増をみると、みな相談できる場所、機関を探していたと思われるので、支援センターの存在が広く浸透するようPRする必要がある。
○様々な働き方を応援する	3.0 (3.1↓)	4.1 (4.1→)	総社市・高梁市連携事業 合同就職面接会参加者	-	0人	44人	250人	障がい者千五百人雇用事業 H28～	20,791	20,830	H29年度末で千五百人雇用事業による就 労者数1,010人。	H30.8.1現在 千五百人雇用 1,008人。 H30.3に株式会社が経営するA型事業所 が倒産し、千五百人雇用者数は一時975 人まで減少。	ライフステージを通じた支援を行うため、 就学期、高齢期も含めた支援が課題。精 神障がい者雇用のフォローが必要。A・B 型事業所の増加及び工賃向上、雇用 ニーズのマッチング
○障がい者の自立を応援	3.2 (3.4↓)	4.0 (4.1↓)						生涯現役のまちづくり H28～	1,925	2,629	そうじゃ60歳からの人生設計所 延相談件数 2,149件 新規登録者数 114名 就職者数 70名	そうじゃ60歳からの人生設計所(8月末) 延相談件数 1,021件 新規登録者数 43名 就職者数 45名 (累計、H28.10～) 延相談件数 4,139件 登録者数 288名 就職者数 135名	H29年度末、セブンイレブンジャパンと協 定を締結し、H30.4.24にお仕事説明会を 開催。4名を就労に繋げた。 また今年度も就労についての多様化して いる個別ニーズの把握とマッチングを図 るとともに、民間企業の高年齢者雇用に 対する意識啓発に取り組んでいく。
○発達障がい者の自立を支 援	3.1 (3.2↓)	4.0 (4.1↓)											
○「ひきこもり」の状況にある 人の自立を支援	3.1 (3.0↑)	3.9 (3.9→)											
○若者の地元就職を推進	3.0 (2.9↑)	4.1 (4.2↓)											
○生涯現役を目指した高齢 者を応援する	3.1 (3.1→)	4.0 (4.2↓)											

【重点推進施策】 **農林業** 満足度 3.1(3.1→) 重要度 3.9(3.9→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値							H32目標値
○地食べ事業を核とした儲かる農業の推進	3.2 (3.2→)	4.0 (3.6↑)	ふるさと納税による市内産米の消費量拡大	-	21,025俵 (平成29年度)	25,643俵 (30.9.30時点)	20,000俵	23,624	54,500	久代工区・地元調整が完了し事業実施。 (実施設計、測量業務、工事一部着手)	久代工区・本年度中に工事完成。 黒尾工区・地元調整が完了し事業実施。	残り1地区で目標の10haの桃生産団地を完成するためには、地権者及び地元関係者の協力が必要であるため、事業内容について細やかな説明が必要である。	
○優良農地の確保	3.1 (3.1→)	3.9 (3.9→)	営農組合の新たな組織化・法人化	-	2組織	2組織	3組織	8,558	13,810	就農相談会参加経費 115千円 新規就農総合支援事業 8,443千円	H29年度から担い手確保をする作物にナスとセロリを追加し、もも・ぶどうと合わせ、4作物の担い手確保に力を入れている。	H29年度から追加した作物のうち、ナスについては2名の研修生を確保。就農希望者が魅力を感じるような経営モデルや支援を今後検討していく必要がある。	
			学校給食における総社産野菜の利用率	36.9% (平成26年度)	30.7% (平成29年度)	35.5% (30.9末時点)	40%	2,409	2,651	農地流動化推進員報奨金 2,409千円	年間700件以上の農地の使用貸借契約を結んでいる。	耕作放棄地の発生の抑止力となっているが、近年大規模営農の農業者の高齢化が進み、その担い手の確保が必要である。	
			荒廃農地の面積	63.8ha (平成26年度)	94ha	-	維持	9,677	11,869	有害鳥獣捕獲報奨金の支払 猟友会吉備分会へ有害鳥獣駆除の委託 野猪防護柵設置、野猪捕獲檻設置事業の実施	農作物被害の低減のために、猟友会吉備分会と連携し有害鳥獣の駆除を実施。9月までの有害鳥獣捕獲数は昨年と比較して微減。 慢性化しているサル被害の対策として追い払い用の花火を配布し、加えてサル捕獲檻の設置を実施。	捕獲報奨金を見直し、有害鳥獣の捕獲を促進した。 猟期におけるイノシシの捕獲頭数は昨年と比較して100頭以上も多く、農作物への被害低減に寄与できていると評価できる。 市内北部におけるサルによる被害が慢性化していることから、その対策を検討していく必要がある。	
								999,509	1,049,946	ふるさと納税関連事業 H28～	全国に向けて市内産米をはじめとする特産品のPRができた。	市内産米の更なる消費量拡大のため、新たに「あけぼの」を活用した新たな返礼品の取扱いを開始した。	返礼品について、国の方針に沿った見直しを検討する必要がある。
								-	5,651				
								-	1,000				
								-	-				

【重点推進施策】 **商工業・物流** 満足度 3.3(3.4↓) 重要度 4.1(4.2↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値							H32目標値
○市内企業・事業所との連携	3.1 (3.2↓)	3.9 (3.9→)	従業員数50名以上の企業誘致	-	1社	0社	3社	200	200	事業実施なし	パート・アルバイトを対象とした合同就職フェアを実施予定 10/17, 10/22	実施後に課題を検討	
○拠点整備を支援する	3.1 (3.1→)	3.9 (4.0↓)	市内事業所数	2,052事業所 (平成24年)	-	-	2,100事業所以上	35,980	35,980	大規模工場等立地促進補助金 H28～H31 株式会社モンテール	5ヵ年交付の3年目	現在、モンテールは18ラインのうち、11ラインが稼働。生産能力の稼働率は61.1%。	今年度中には12ラインとなる予定。今後は業績とのバランスを取りながら、徐々に生産能力を高める予定で、フル稼働は数年先となる予定。
								999,509	1,049,946	【再掲】ふるさと納税関連事業 ※農林業へ掲載	全国に向けて市内産米をはじめとする特産品のPRができた。	市内産米の更なる消費量拡大のため、新たに「あけぼの」を活用した新たな返礼品の取扱いを開始した。	返礼品について、国の方針に沿った見直しを検討する必要がある。
								-	-	H28 企業立地促進補助金 大黒天物産株式会社(中国物流RMセンター分)			
								-	-	H28 そうじゃ商人(あきんど)応援事業補助金			

【基本目標 3】

だれもが学びたくなる総社

満足度 3.3(3.4↓)

重要度

4.1(4.2↓)

[年少人口(0~14歳)数] 当初値:約9,823人 ⇒ H29確定値:9,693人(H30現況値:9,689人) ⇒ H32目標値:10,000人超

【重点推進施策】

学校・幼児教育

満足度 3.3(3.4↓)

重要度

4.3(4.4↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)					事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値	H32目標値						
○「心」を重視した教育	3.1 (3.1→)	4.2 (4.3↓)	地域の特色やニーズにあった特区の新設	1区 (平成27年度)	3区	3区	3区	学校自由枠交付金事業 H28~	43,300	43,300	校長に権限を与え、各学校の実情に応じた取組及び特色ある学校づくりができ、学校力の向上に寄与できた。	事業費は総額裁量、特色枠、学校提案要求型事業の3層事業に分かれており、各学校の実情に応じた支出が可能となっている。	学校提案要求型事業については、複数校が地域の特徴ある事業を要求するなど、学校間おしの繋がりが増加している。
○だれもが行きたくなる学校づくり	3.1 (3.1→)	4.2 (4.3↓)	不登校出現率(不登校の子どもの割合)	小学校0.43% 中学校1.97% (平成26年度)	小学校0.45% 中学校2.22%	小学校0.07% 中学校0.11% (H30.7.1時点)	小学校0.3%以下 中学校1.7%以下	総社小学校改築事業 H28~H31	1,019,316	1,731,610	校舎改築工事設計委託及び改築工事(本体・電気・機械)の実施	校舎改築工事がほぼ工程どおりに実施されている。	新校舎については、H31.1末完成及び3月からの利用開始に向けて事業を進める。
○特別な支援が必要な子どもたちを支援	3.1 (3.2↓)	4.2 (4.2→)	昭和地区等英語教育特区への地区外から通園通学する児童生徒数(幼小中)	47人	104人	123人	100人	昭和地区等英語教育推進事業 H28~	42,596	43,712	維新幼・維新小・昭和小・昭和中に就園・就学する子どもに対して、幼小中一貫した特別な英語教育を提供した。	豊かなコミュニケーション能力と国際的視野を身に付けた人材を育成している。	音楽・英語特区事業の定着を図る。
○特色ある学校づくり	3.1 (3.2↓)	4.0 (4.0→)						だれもが行きたくなる学校づくり H28~	6,238	7,923	総社市教育支援センターに派遣登校支援員を配置し、学校へ派遣することで支援を要する児童に対して迅速かつ個別に支援する。	不登校対策の取組みや生徒指導、教育相談、特別支援教育の体制を充実し、児童生徒の学校適応を促進している。	年度途中で課題が発生した学校には登校支援員を配置できない。また、中学校対象でないため、中学校における課題の解決までは至っていない。
○世界へはばたく特区教育を	3.1 (3.1→)	3.8 (3.9↓)						発達障がい支援事業「特別支援教育推進センター きらり」 H28~	13,647	18,227	特別支援教育の拠点である就学相談や研修の機能も備える特別支援教育推進センターの礎にしている。	現在、自閉症・情緒障がい特別支援学級に入級する児童生徒だけでなく、通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒の数が著しく増加している。	学校現場では、支援を必要とする児童生徒の急激な増加に対して、個に応じた指導・支援が十分に提供できていないという現状がある。
								学校力向上教員加配事業 H28~ H30 日本人英語指導員等全学区配置	123,684	142,933	学校力を高め、児童生徒の支援を充実させることにより、各学校の教育課題に取り組むとともに、児童生徒のよりよい発達を促す。	学校の教育課題に応じて、臨時非常勤職員(特別支援教育支援補助員、特別支援教育講師、生徒指導員、別室登校指導員、非常勤講師(SCC・学力向上・教科指導・日本語指導・日本人英語指導員JTE)、養護事務補助員、小1グット支援員)を配置している。	市外からの転入者の増加に伴い、外国籍の児童生徒や一人親家庭の児童生徒などが増加するとともに、生活困窮や虐待事案のある家庭の児童生徒や発達障がいのある児童生徒が増加しており、標準法による規程定数内の教職員だけでは、通常の学校業務が困難になっている実態がある。
								給食調理場新設事業 H28~H31	103,186	930,879	建設工事設計委託、造成工事、地質調査等の実施	造成工事、建設工事等を実施	概ね予定どおり事業を実施している。引き続きH31.7完成に向けて事業を進める。
								小学校 普通教室エアコン設置事業 H28~H29	127,286	—	小学校5校74教室(総社東小、山手小、常盤小、清音小、総社中央小)へ設置	—	H31.3総社小学校の新校舎利用開始に伴い、市内全小中学校の普通教室にエアコンが設置されることになる。
								H28 維新幼稚園耐震補強設計業務	—	—	—	—	—

【重点推進施策】

家庭教育

満足度

3.2(3.3↓)

重要度

4.1(4.2↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値							H32目標値
○家庭教育	3.1 (3.1→)	4.0 (4.1↓)	高校進学を希望するワンステップ受講者の進学率	-	91.7%	-	100%	生活困窮者自立支援事業 H28～ H29 小学4年生以上に対象拡大	32,213	33,970	ワンステップ(中・高生対象) ・5月から開催 小学生版(小学4年から対象) ・10月から開催 参加申込人数 27名 【内訳】 小学生 5名 中・高生 22名 うち、進学対象者 12名 高校進学者 11名	ワンステップ(中・高生対象)、小学生版(小学4年から対象)共に、5月から開催 参加申込人数 18名(H30.9.1現在) 【内訳】 小学生 3名 中・高生 15名 うち、中学3年:4名、高校3年:1名	○中学・高校生 ・講師となる大学生の参加人数が不安定 ・参加の子どもによっては、教員OBの協力が必要 ・子どもだけでなく、家庭への支援取組み方法が課題 ○小学生 ・教室が中心部となるため、学区外の対象拡大が課題
○学習を応援	3.1 (3.1→)	3.9 (3.9→)	学校運営協議会の設置数	-	0校	5校	7校以上						

【重点推進施策】

スポーツ・文化・生涯学習

満足度

3.3(3.4↓)

重要度

3.9(4.0↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値							H32目標値
○スポーツを楽しむ	3.2 (3.2→)	3.9 (3.9→)	体育施設の利用者数(延べ)	520,000人 (平成26年度)	533,561人 (平成29年度)	112,319人	600,000人	(仮称)常盤第2分館新築整備事業 H28～H30	83,064	147,268	造成・設計	建設・備品購入 H30.6議会において公民館条例改正 H30.11竣工式予定	常盤地区の人口増加に対し、新分館を建築することで、地域住民の学習の機会と活動の場を提供し、一層充実した生涯学習の推進を図ることができるようになる。
○貴重な文化財を守り、文化芸術を身近に	3.3 (3.3→)	3.9 (3.9→)	吉備路文化館の来場者数(延べ)	8,800人 (平成26年度)	6,158人 (平成29年度)	3,420人	10,000人	高梁川河川敷グラウンド拡張整備事業 H29～H30	58,854	23,725	【計画面積】132,000㎡(新規占有面積56,000㎡、既占有面積76,000㎡)進入路新設設計・整備 進入路周辺設計・整備	【計画面積】132,000㎡(新規占有面積56,000㎡、既占有面積76,000㎡)新規占有箇所整備・芝グラウンド基盤整備・散水施設工事・備品整備・芝張り	H30.7月豪雨のため、復旧する。当初、予定していた既存グラウンド整備の時期を検討する必要がある。
○生涯学ぶ	3.2 (3.2→)	3.8 (3.8→)						総社芸術祭 H28～	2,000	7,000	H29.4 第3回芸術祭 開催 H29.8～ 第4回芸術祭実行委員会 7回実施	第4回芸術祭 実行委員会 6回実施済	第4回を迎える芸術祭開催に向け、市民への認知度が浸透しているとはいえない状況。事前の広報を十分に行う必要がある。
								市所蔵美術展開催事業 H28～	3,000	3,000	H29.10「追悼 高木聖鶴展」 H29.12「総社ゆかりの作家展Ⅲ 入江北幸×皆見鵬三×山本正」をそれぞれ開催	H30.10「森コレクション展Ⅱ」 H31.1「総社ゆかりの作家展Ⅳ」をそれぞれ開催予定	総社吉備路文化館における展覧会は市民に定着しつつあり、リピーターも徐々に増えているが、引き続き周知が必要である。
								くらしき作陽大学・総社市包括協定記念コンサート H29～	1,000	1,000	第6回記念コンサート「第9」開催	第7回包括記念コンサート開催に向け実行委員会を実施	「総社の第9」は定着してきている。今年は大学側に被災されている関係者もいるため、内容をどうするか課題である。
								一丁塚古墳群確認調査 H28～	420	3,000	大塚古墳の確認調査に着手した	H29年度に引き続き大塚古墳の確認調査を実施。調査成果について現地説明会を実施した。	一丁塚古墳群の県指定史跡範囲拡大に向けて引き続き古墳群の確認調査を続けていく必要がある。
								総社市美術博物館基本計画・文化芸術会議 H28～ 文化芸術会議委員報酬・基金積立	70,583	100,295	文化芸術会議 2回実施	10月以降の文化芸術会議実施に向け、事務局案を策定中	美術博物館整備に向け、文化芸術会議としての答申を早急に取り纏める必要がある。
								東京オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致 H30～H32	-	-	-	-	-
								雪舟生誕600年記念事業 H30～H31 生誕地公園整備、記念事業	-	341,391	-	赤浜にある雪舟生誕の地とされる用地の買戻しを行い、7月に公園基本設計、実施設計をコンサルタント業者へ委託。	来年度の整備工事に向けて、地元の方々や、雪舟のことをよく知るの方々のご意見なども聞きながら、よりよい公園ができるよう準備を進めていく。
								H28 平成28年度全国高校総体 卓球競技開催経費	-	-	-	-	-

【基本目標 4】 **だれもが訪れたい総社** 満足度 **3.2(3.2→)** 重要度 **4.0(4.0→)**

[滞在人口] 当初値:平日47,085人,休日49,359人 ⇒ H29.4:平日49,273人,休日50,226人(H30現況値:未公表) ⇒ H32目標値:48,000人,休日50,000人

【重点推進施策】 **観光** 満足度 **3.1(3.1→)** 重要度 **4.0(4.1↓)**

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値						
○全国屈指のマラソン大会	3.8 (3.7↑)	3.8 (3.8→)	観光客数	80万人 (平成26年度)	77万5千人 (平成29年度)	22万2千人 (平成30年7月時点)	100万人	34,330	23,000	第10回記念大会として2月25日に開催し、全国41都道府県から、参加者数全国第7位となる2万2563人の過去最高の申込があり、この経済効果は前年度を約1億円上回る7億495万1077円あった。	平成30年7月豪雨災害を受けたことから、被災地支援の目的のため、そうじゃ復興支援チャリティマラソンとして、2万5千人定員で2月24日開催で準備中。	総社市及び吉備文化発祥の地の吉備路を市民の手作りで全国へ発信し、知名度と地域の活性化が年々向上している。今後コース内混雑解消、地域交通事情、ボランティアも含めた大会運営の質と数の向上が課題。
○観光用の2次交通整備	3.0 (3.0→)	4.0 (3.9↑)	そうじゃ吉備路マラソン参加者の大会運営評価満足度	70.5点 (2015大会実績)	54.2点 (2018大会実績)	-	80点	14,450	14,150	赤米関連事業として、市民会館でコンサートを行った。	H29に引き続き赤米コンサートをチャリティコンサートとして実施。	総社観光プロジェクトからの24の提言のうち、実施可能なものを順次具現化する。
○さらなる観光客・訪問客の増加	3.0 (3.0→)	3.9 (3.8↑)						120	300	高梁市が所有するボンネットバスを活用したツアーを実施した。 6/1 15名参加 11/2 11名参加	6/6に今年度1回目を実施。15名参加。災害の影響により第2回目は中止。	参加者に満足していただける観光素材の提供を目指す。
								790	528	観光プロモーション事業 20件選定 流域インバウンド推進事業 (台湾のメディアの招聘事業)	高梁川流域の集客力を高めるための取り組みをする事業者及び団体の事業活動に対し補助金を交付、圏内観光の情報発信強化、台湾に焦点を当てたインバウンド推進事業等の計画を総会で承認	高梁川流域の地域性を生かした体験型観光の醸成を図る。
								-	4,500	-	ジャブジャブ池浚渫 250㎡ 排水路修理・堰堤止水盤設置	ジャブジャブ池利用者の少ない時期に実施。
								-	-	-	-	-

【重点推進施策】 **都市・社会基盤** 満足度 **3.0(3.1↓)** 重要度 **4.0(4.0→)**

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値						
○岡山県立大学周辺を東の玄関口に	2.9 (2.9→)	3.6 (3.7↓)	県立大学生の総社市居住率	45% (H27.5現在)	50% (H29.5現在)	49% (H30.5現在)	55%	26,978	55,000	中央井手本線改良工事 延長・幅員 L=117.0m W=6.0(16.0)m	工事 発注準備中	交付金の配分が非常に厳しいため事業進捗に影響を及ぼしている。
			宅地面積	1,475ha (H27.4.1)	(都市計画基礎調査後に 数値確定)		1,505ha	21,783	100,000	高松田中西阿曾線測量設計(橋りょう詳細設計含む) 延長・幅員 L=300m, W=7.0~9.5m	高松田中西阿曾線改良工事 施工中 延長・幅員 L=197.4m W=6.0~6.5m	工事に伴う通行止めの対応
			立地適正化計画等策定事業 H28~H30	8,532	4,500	立地適正化計画(原案)策定	立地適正化計画 策定中 東総社駅周辺まちづくり計画 策定中	目標値等の検討 中心市街地の再生に向けた実現方策の検討				
			県大周辺まちづくり事業 H30~	-	4,500	-	服部駅周辺まちづくり計画 策定中	区域区分の変更に向けた農政部局等の関係機関協議 関係住民への事前調整、説明等				
			真壁支線3156号道改良事業 H28~H30	18,244	41,000	真壁支線3156号道改良工事 延長・幅員 L=60m W=7.5m	工事発注準備中	用水路の付け替え工事があるため、早期完了を目指す必要がある。				
トイレピカピカ大作戦 H28~	13,824	42,000	市成公園公衆便所改築工事 総社宮公衆便所改築工事	都市公園公衆便所改築工事設計業務 (総社公園・文化筋公園)	発注済み							

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値	H32目標値						
○「赤米」を日本遺産登録へ	3.2 (3.3↓)	3.3 (3.3→)	日本遺産登録件数	0件	0件	1件	1件以上	住宅用スマートエネルギー導入促進補助事業 H29～	4,000	4,500	住宅用太陽光発電システム設置補助金52件 住宅用スマートエネルギー導入促進補助金14件	住宅用スマートエネルギー導入促進補助金31件	省エネルギー設備を備えた住宅の新築・改修等が増える中、十分な予算の確保が必要
○豊かな自然を大切にす	3.2 (3.2→)	3.9 (3.9→)	環境教育・学習参加者数(延べ)	214人 (平成26年度実績)	356人	36人	320人	北の吉備路やヒイゴ池湿地などにおける自然保護活動 県立自然公園の景観整備・保全 環境教育の推進 H28～	4,689	4,935	除草や標識・看板等の維持・補修作業の実施 自然保護観察会や自然学校等の実施 (参加者数:356人)	総社ふるさと自然のみちの遊歩道や見本園、ヒイゴ池湿地、県有地(鬼ノ城・吉備路風土記の丘県立自然公園)内の除草・維持補修の実施 自然保護観察会を定期的な開催、自然保護講演会などを実施し自然保護の啓発を図っている。 災害対応のため自然学校は未実施	施設・自然環境に精通した委託先団体構成員の高齢化

【基本目標 5】

だれもが集いたくなる総社

満足度 3.1(3.2↓)

重要度 3.8(3.9↓)

[総社市に愛着を感じている人の割合(アンケート)] 当初値:75.2% ⇒ H29確定値:74.4%(H30現況値:73.5%) ⇒ H32目標値:85%

【重点推進施策】

市民参加

満足度 3.2(3.2→)

重要度 3.8(3.8→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値							H32目標値
○地域課題を解決し、独自性ある地域を創る	3.1 (3.1→)	3.7 (3.7→)	市民提案型事業への応募件数	9件 (H26.27実績)	20件 (H29年度応募数)	14件 (H30年度応募数)	30件	220	782	総社の将来を担う若手人材育成を目指し、18名の塾生を募り、講義や移動研修会を実施。	1期生(H29)は18名。現在は、主に班別活動で課題解決を目指している。 2期生(H30)は5名。	新たな塾生の人材確保、塾生間の交流促進、市が抱える政策課題と塾生とのマッチング。	
○女性が活躍する	3.1 (3.1→)	3.8 (3.8→)	多文化共生イベントへの来場者数	1,300人 (平成26年度実績)	1,500人	H30.11.24 開催予定	2,000人	76,670	81,468	地域づくり自由枠交付金 H28～ H29～ 自主防災組織加算 H30～ 地域力アップ加算	H30年度交付額 77,706千円	交付金の申請及び実績等の事務手続きが適正に出来るように、周知や運用マニュアルの改正を行う。H30新規事業地域力アップ事業の周知強化。	
○外国人と共生する	3.1 (3.1→)	3.5 (3.4↑)	小児医療費決算額	2億5,232万円 (平成26年度決算)	2億5,488万円 (平成29年度決算)	1億3,180万円 (平成30年9月末)	2億5,000万円 未済	3,980	4,000	市民提案型事業 H28～	H30年度では、8団体を採択しており、10/17に中間報告会を実施予定。	申請や実績報告が煩雑との指摘があり、手続きの簡素化を検討する必要がある。	
○みんなで考え取り組む	3.2 (3.3↓)	4.0 (4.0→)	ごみ減量化推進団体 資源回収量	1,509t (平成26年度)	1,230t	274t	1,800t	7,047	9,771	多文化共生事業 H28～ H30～ ベトナム語対応	復興インターナショナルフェスタ(11/24)を開催予定。ベトナム語通訳の配置を計画。	ベトナム人人口の増加が著しいため、早急にベトナム語通訳の配置を行い、窓口相談などで対応できる体制を構築したい。	
										日本語教育事業 H28～	日本語教室、サポーター育成研修開講などの日本語教育事業を行い、外国人と日本人との「顔の見える関係づくり」を図った。	H30年度文化庁委託費 1,280千円	日本語教室の周知、積極的な参加
										ごみ減量化推進団体報奨金 H28～	支払対象団体数 106団体 回収量 1,229,807kg	8月末時点 支払対象団体数 111団体 回収量 198,407kg (前年度同時期 267,664kg)	団体数は横ばいである一方、回収量が減少傾向にある。
EMIぼかし配布事業 H28～	961	1,071	配布世帯 5,220世帯 配布数 15,655個	8月末時点 配布世帯 2,140世帯 配布数 6,420個 (前年度同時期 2,170世帯、6,508個)	事業の一層の周知を図り、生ごみ(可燃ごみ)の減量につなげていく。								

【重点推進施策】

広域連携

満足度

3.1(3.2↓)

重要度

3.8(3.9↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値	H32目標値						
○広域で連携する	3.1 (3.2↓)	3.7 (3.8↓)	市役所での大学生インターンシップ受入れ人数	31人 (H27度申込者数)	49人	46人	60人	【再掲】高梁市連携事業負担金(雇用促進) ※ 商工業・物流へ掲載	200	200	事業実施なし	パート・アルバイトを対象とした合同就職フェアを実施予定 10/17, 10/22	実施後に課題を検討
○大学との連携	3.1 (3.2↓)	3.6 (3.7↓)	総社市・高梁市連携事業バスツアー参加者	40人/年 (H27度申込者数)	26人/年	15人	60人/年	【再掲】高梁市との観光連携事業 ※ 観光へ掲載	120	300	高梁市が所有するボンネットバスを活用したツアーを実施した。 6/1 15名参加 11/2 11名参加	6/6に今年度1回目を実施。15名参加。 災害の影響により第2回目は中止。	参加者に満足していただける観光素材の提供を目指す。
○地元金融機関との連携	3.1 (3.2↓)	3.6 (3.6→)						【再掲】高梁川流域観光振興協議会負担金 ※ 観光へ掲載	790	528	観光プロモーション事業 20件選定 流域インバウンド推進事業 (台湾のメディアの招聘事業)	高梁川流域の集客力を高めるための取り組みをする事業者及び団体の事業活動に対し補助金を交付、圏内観光の情報発信強化、台湾に焦点を当てたインバウンド推進事業等の計画を総会で承認	高梁川流域の地域性を生かし体験型観光の醸成を図る。

【重点推進施策】

市役所

満足度

3.0(3.1↓)

重要度

3.9(3.9→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H29 決算額	H30 予算額	H29 主要成果	H30 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30現況値	H32目標値						
○行財政改革	3.0 (3.0→)	3.9 (4.1↓)	個人番号カードの普及率(累計)	-	9.65%	10.00%	70%(5年累計)	総合計画等評価・検証事業 H28~	308	313	市民満足度調査、審議会の結果を踏まえ、改訂版を発行した。	H30.10.29 審議会開催。KPIの達成状況を進捗管理している。	毎年、PDCAを行い、改訂を行う等、「全国屈指の福祉文化先駆都市」の実現を目指して、ブラッシュアップする必要がある。
○ファンリティマネジメントの実施	3.0 (3.1↓)	3.8 (3.8→)	市債の借入額	-	普通会計ベース 93.0%	普通会計ベース 109.6%	5年間平均で元金償還額の95%以下に抑制	市営住宅整備事業 H29~ バリアフリー化	12,204	20,700	浅尾住宅手すり設置工事 浅尾住宅屋根塗装改修工事 井尻野・諸上住宅給水設備改修工事外	総社市公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的に実施している。	定期点検を実施し、計画的に修繕を行っていくことが施設の長寿命化や経費の縮減につながる。
○職員の意識改革	2.8 (2.9↓)	4.1 (4.2↓)						地方公営企業法適用化に向けた整備 H29~H31 公共下水道・農業集落排水	15,570	46,680	固定資産調査・評価の実施	固定資産調査・評価の実施に加え、システム構築・導入及び例規の整備を実施する。	上水道課をはじめ、関係各課との調整を行いながら、法適用化をすすめていく。
								コンビニ収納導入事業 H30	-	25,830	-	5月からコンビニでの納付が可能となった。今まで金融機関でお支払いしていた方の多くがコンビニ収納を利用していた。だいたい。	従来に比べ大幅に利便性は高くなったと考えている。当面収納率の推移を見守りたい。
								人材育成・意識改革事業 H30~	-	17,399	-	実務研修 4回(文書事務) 部長講話 2回(総合政策部長) 意識改革研修 2回(H30.5.2 講師 名張市長, H30.5.11 講師 山崎製パン(株)最高顧問)	職員の要望が多かった実務研修について、日にちを2日に分けて受講しやすしたり、内容を変えるなど工夫して実施。ただし、西日本豪雨による被災以降、予定していた研修スケジュールが白紙となり実施できていない。
								昭和福祉センター解体工事 H29	17,162	-	8月24日解体工事入札、業者決定、 12月27日解体工事完了	-	今後の跡地利用について、美袋駅前開発を視野に入れた利用計画を検討する必要がある。
								H28 一般廃棄物処分場 水処理施設等建設工事	-	-	-	-	-